港区立東町小学校









令和6年9月30日発行 第652号

発行者 校長 橋本 勇一

higashimachi-es@minato-tky.ed.jp

校歌について 校長 橋本 勇一

昨年の開校110周年祝賀会の際、校歌についての話をしました。それを文章に起こしてみました。

私の好きな校歌の歌詞のフレーズは、「楽しの学 び舎、我が学び舎」という部分です。

歌詞は硬いのですが、110年前に「楽しの学び舎」という表現は柔らかくて素敵だと思い、私は気に入って調べてみました。作詞は葛原(くずはら)しげるさんです。葛原ゆうさんと名乗ったこともあったようです。童謡作詞家で、代表的な作詞は「夕日」、「村祭り」、「とんび」等があります。「村祭り」は文部省唱歌になり、歌詞は「どんひゃらら」。「夕日」の歌詞は「ギンギン ギラギラ 夕日が沈む」です。聞いたことがあるでしょうか。「夕日」の最初の歌詞は、「キンキン キラキラ」としていましたが、当時小2の長女に「キンキンは朝日で、ギンギンは夕日でしょ。」と言われ変更したそうです。柔らかい人だと思わせるエピソードです。

作曲は小松 耕輔(こまつ こうせい)さん。 この人もすごい人です。明治39年に日本最初の オペラ「羽衣」を作詞・作曲しました。昭和2年 日本で初めて合唱コンクールを開くなど初めての ことを2回しています。

二人に共通するのは児童文学・児童音楽の創成期に最も重大な影響を与えた鈴木三重吉が創刊した「赤い鳥」という童話と童謡の児童雑誌に作品を多く発表したことです。

校歌に硬さの中に柔らかさがあるのは児童教育に対して、理解があるからこのような素敵な校歌ができたと思うと感慨深いものがあります。

行事の時に子供たちが校歌を歌いますが、この 話を思い出していただけると幸いです。

日にち	曜日	行 事 予 定
1	火	都民の日
2	ما ــ	安全指導日
	水	落語教室(5校時、体育館、1~3年)
3	木	区連合運動会(6年)
4		委員会
	金	みなと科学館(4年)
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会 クラブ
8	火	
9	水	
1 0	木	児童集会 (掲示委員会)
		避難訓練10月(中休み)
1 1	金	4時間授業 学芸会準備
		通知表配布 教育実習終
1 2	土	みなと区民まつり
1 3	日	みなと区民まつり
1 4	月	スポーツの日
		みなと区民スポーツ・体育祭
1 5	火	
1 6	水	4時間授業
1 7	木	音楽朝会
		避難訓練10月予備日
18	金	
1 9	土	校庭開放日
2 0	日	
2 1	月	全校朝会
2 2	火	
2 3	水	
2 4	木	児童集会(図書委員会)
2 5	金	4時間授業
2 6	土	
2 7	日	
2 8	月	全校朝会
2 9		学芸会リハーサル
	火	2年6時間授業
3 0	水	
3 1	木	学芸会児童鑑賞日①
<u> </u>		-

10月の生活目標 「力を合わせてやりぬこう」

避難訓練について

10月は休み時間中に地震が発生、その後の余震に対する対応を含めた想定訓練を行います。

学芸会について

今年度は学芸会があります。本校でも久しぶりの 開催となります。子供たちにとって初めての行事と なりますが、役決めのオーディションなどが各学年 で始まり、みんな意欲をもって臨んでいる様子が見 られます。演劇のほかに歌などもありますので、本 番に自信をもって発表できるよう練習を重ねてい きたいと思います。ぜひご来校いただき、お子さん の活躍をご覧ください。

なお、保護者鑑賞日は11/2(土)です。

人権の日について

今月の人権の日は、28日(月)です。28日(月)の給食は、ハンガリーの料理で「グヤーシュ」です。

通知表の記載事項について

今年度より、「特別の教科道徳」の記載を後期の みに変更いたします。ご了承ください。

10月の校庭開放日のお知らせ

10月19日(土) 12:00~15:00

委員会活動について

特別活動 武藤 智子

委員会では、5,6年生が、学校生活で何ができるのかを考えて、問題を解決したり改善したりするために話し合いなどをしています。今年度は、保健、給食、放送、環境、集会、図書、運動、掲示、運営の9つの委員会です。集会等での各委員会の発表もあります。それぞれの委員会の特徴を生かしながら全校に発信しています。委員会活動をしていない学年にも、活動内容が伝わっています。今後も、学校をよりよくするための委員会活動が楽しみです。

令和6年度 スマイルルームの通室 及び 学習支援員の配置 の 申込みについて

特別支援教育担当 斎田 佳子

発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善する通室指導を行うスマイルルーム、また、所属する学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために個別的な支援を行う学習支援員の配置の申請を受け付けます。新たに、ご希望される保護者の方は、10月31日(火)までに、担任、または養護教諭、副校長にご相談ください。

音楽科の学習について

音楽専科 三島 雅

音楽科では、音を通して表現すること聴くことを 学習しています。表現するためには、発する側と、 受け取る側がいて、はじめて成り立ちます。'表現す ること'ばかり大切にしていまいがちですが、それ 以上に、受け取る側の'聴く力'が必要だと考えま す。友達が聴いてくれるからこそ、一生懸命表現で きるのです。聴くことは、相手のことを考え、思い やることです。

また、子供たちが"聴く"ということの価値を見 出せるような授業づくりが私の役目だとも考えて います。それぞれの学年で出会う曲の良さをみつ け、子供たちが安心して学び合える授業、心がウキ



自分の存在を大切に 感じる学習を目指し ています。

ウキしてくる瞬間、

教育相談について

東海林 久美子

子どもが本来持っている良さや力を活かして課題を 乗り越えて成長できるよう、支えてガイドします。お子 さんの学校生活や教育、また育児にまつわる悩みについ てご利用いただけます。

【専門の相談員として】

お二人のスクールカウンセラー がいらっしゃいます。

木曜日:池田 花 先生

金曜日:上村 若菜 先生

<話すことのメリット>

- □話すことで落ち着ける スッキリする
- □話すことで頭の中が整理される
- □情報を得られる
- □授業や休み時間に児童の様子を見て、学校での生活をお伝えできる
- □家族の中での関わりを変える必要がある場合、適 切な伝え方を一緒に考えられる

希望される方は、担任、養護教諭、副校長にご連絡 ください。